

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

専門学校 越生自動車大学校

専門課程 2級自動車整備科

授業科目名	授業科目概要	実施時期			時間数	担当者
		年次	前期	後期		
ジーゼル構造 1	近年、技術進歩が目覚ましいジーゼル・エンジンの新技術を踏まえ、現在の整備作業の傾向に合った基礎技術、正しい故障診断技術について、整備の体系や企業実態、地域業界の実情を織込みながら教科書で教える。	1	○		16	
ジーゼル構造 2	近年、技術進歩が目覚ましいジーゼル・エンジンの新技術を踏まえ、現在の整備作業の傾向に合った基礎技術、正しい故障診断技術について、整備の体系や企業実態、地域業界の実情を織込みながら教科書で教える。	1		○	16	
シャシ構造1	自動車のクラッチ、サスペンション、アライメント、タイヤなどの構造作動についての学習	1	○		32	
シャシ構造2	自動車のサスペンション、ブレーキ、タイヤ、フレームなどの構造作動についての学習	1		○	32	
自動車の力数・数学 1	国家試験対策のひとつで、基礎的な計算能力を高めます。	1	○		16	
自動車の力数・数学 2	国家試験対策のひとつで、基礎的な計算能力を高めます。	1		○	16	
電気・電子理論 1	自動車は石油燃料車から、HIV、PHIV車、電気自動車へと、その進化は著しくなっている。また、各機能部品等も電子化され、極めて複雑化されてきており、これから自動車整備に従事するものにとって、電気・電子の知識、技術が不可欠になってきているので、これらについて理解させる。	1	○		32	
電気・電子理論 2	自動車は石油燃料車から、HIV、PHIV車、電気自動車へと、その進化は著しくなっている。また、各機能部品等も電子化され、極めて複雑化されてきており、これから自動車整備に従事するものにとって、電気・電子の知識、技術が不可欠になってきているので、これらについて理解させる。	1		○	16	
図面	自動車整備士として、車両の修理書、解説書、自動車関係の書籍等の図面を見て、その図面が何を表しているのか理解できるようにする。	1		○	16	
機器の構造・取扱 1	安全を確保するための心構えや必要な知識を学び、その中で使用する基本的な工具についての使用法、注意点を学ぶ。	1	○		16	
機器の構造・取扱 2	自動車整備に特化した工具機器や測定器具を学び、基本的な測定方法、それに伴う保安基準などを学ぶ。	1		○	16	
自動車法規 1	自動車整備士に必要な法規の知識を身に付けさせる。	1	○		16	
自動車法規 2	自動車整備士に必要な法規の知識を身に付けさせる。	1		○	16	
手仕上げ・機械工作	基本的な工具の扱い方、技術の習得。 学んだ技術を使って作品を作り上げる。	1	○		52	
基本計測	各計測機器を使用し、正しい計測方法、計測機器の読み取りの習得	1	○		52	
エンジン 1	小型エンジンのオーバーホール作業の中で、エンジンの構造や基礎的な整備・点検要領及び工具の使い方を学習します。	1	○		52	
エンジン 2	道路運送車両法の規定に基づく、二級ジーゼル・エンジン自動車整備士を養成するため	1	○		52	
エンジン 3	実車、ベンチエンジン等を使用し、不具合部位をダイアグノーシスコードを読み取り、見つけ出す方法の習得	1		○	56	
二輪 1	四輪車のエンジンと比べて二輪車のエンジンがどのように違うか、また二輪車の独自の特別な機構について理解する。	1	○		52	
シャシ 1	自動車の動力伝達装置であるクラッチ、マニュアル・トランスミッション、ファイナルギヤ及びディファレンシャル機構についての構造・作動、並びに分解組付け及び調整技術の修得を目的とする。	1	○		52	
シャシ 2	ステアリングギヤBOXの構造、作動及びブレーキの構造、作動と脱着作業習得	1		○	56	
シャシ 3	車両からのサスペンション脱着・分解作業、トランスミッションの脱着作業、クラッチオーバーホール作業を行います。	1		○	56	
二輪 2	50CCのスクーターを使って2サイクルエンジンや自動遠心クラッチ、自動無段変速機構などを学ぶ。	1		○	56	
電装 1	エンジン関連の電気装置の構造や点検方法を学ぶとともに、テスターを使用した基礎的な測定手順を学習する。	1		○	56	
電装 2	自動車の基本的な点火装置、シャシ電装について理解させる。	1		○	56	
計					904 H	